

# Lab News

## テーマ “腫瘍崩壊症候群： Tumor Lysis Syndromu(TLS) ①

腫瘍崩壊症候（TLS）は、腫瘍が自然にまたは抗がん剤治療、放射線治療をきっかけとして、血中で多くの腫瘍細胞が短時間に崩壊することにより、細胞内成分の血中濃度が高くなり、多臓器障害を来す症候群です<sup>1)</sup>。TLS は治療開始 12-24 時間以内で高率に発症する為、治療開始直後から注意深い観察が必要です。

### TLS の病態

TLS は腫瘍の増加が著しいか、抗がん剤による急速な細胞破壊によって生じます。特に急性白血病：骨髄性（27%）リンパ性（47%）、悪性リンパ腫（22%）に多くみられ、高尿酸血症、高リン酸血症、高カリウム血症、乳酸アシドーシス、低カルシウム血症が特徴であり、循環器系への抑制や急性腎不全などをきたします。

### TLS の定義

検査学的な定義（表 1）と臨床的な定義が区別されています。臨床的な定義に関しては文献 2) を参照して下さい。表 1 以外にも、種々の検査項目から、患者動態や腫瘍量の確認、DIC の管理なども平行して行う事が重要です。

表 1.検査学的な定義

元素	血中測定値	基準値からの変化
尿酸	476 $\mu$ mol/L以上	25%増加
	または8mg/dl以上	
カリウム	6.0mmol/L以上	25%増加
	または6.0mg/dl	
リン酸	2.1mmol/L(小児)以上	25%増加
	または1.45mmol/L以上(成人)	
カルシウム	1.75mmol/L以下	25%増加

治療前3日間または治療後7日間以内に2回以上検査値の変化がある

### <TLS のまとめ>

1. 腫瘍量の多い血液疾患で TLS が発症する頻度が高く、治療開始直後より注意深い経過観察が必要である
2. 多臓器不全、特に腎不全やDICを併発することがあるの、全身管理が必要である

文献 1) 畠 清彦：腫瘍崩壊症候群 癌と化学療法 35(13):2334-2337, 2008

2) ASCObuidline. J Clin Oncol 26:2767, 2008